

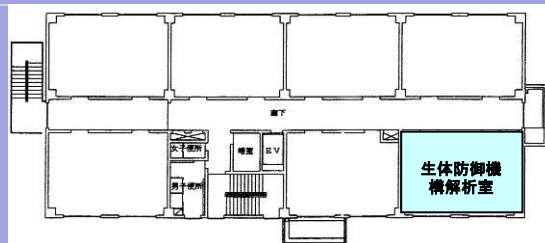
共同利用施設 案内

室名: 生体防御機構解析室

主任: 糸井 マナミ
(免疫微生物学ユニット:
内線267)

場所:
5号館2階
内線: 263

施設利用手引き



概要: 細胞や器官培養を行うための設備が整っています。培養に用いるサンプルを採取できるよう、動物実験室の登録がしてあります(遺伝子改変動物使用可)。

共同利用機器備品リスト:

1. クリーンベンチ(NS-18AS, S-1800PV) 2台
2. CO₂インキュベータ(Thermo F3210T) 2台
3. オートクレーブ(Tomy SS-320) 1台
4. 乾熱滅菌器(Gravity Oven LG-122) 1台
5. 超純水作成装置(Milli-Q Direct8) 1台
6. 遠心機(Tomy LC-200, HITACHI 05PR-22) 2台
7. 液体窒素ロケーター 2台
8. マイクロプレートリーダー
(Emax precision microplate reader) 1台

機器用途【 なにができる? 】

1. 無菌的に細胞や組織を取り扱います。
2. 温度・湿度・CO₂濃度を一定の状態に保ち、細胞や組織を培養します。
3. 培地・手術器具などを滅菌します。
4. ガラス器具などを滅菌します。
5. 超純水と逆浸透水を作ります。
6. スイング型の遠心機です。室温と冷却機能付があります。
7. 超低温(-196℃)で細胞やサンプルを保存します。
8. 96穴マイクロプレート中のサンプルの吸光度を自動で測定・記録します。酵素抗体法などに利用します。

1



5



6



7



2



3



4



8



利用の手引き

生体防御機構解析室の利用について

1. 生体防御機構解析室の利用に当たっては、「生体防御機構解析室利用届け」に必要事項を記入し、主任者に提出してください。
2. 実験室の利用を始める前に、主任者より機器の使用法・マナーなどについて、インストラクションを受けてください。
3. 実験室の利用時間等、他の利用者との調整は主任者が行いますので、主任者の指示に従ってください。
4. 消耗品は各自で用意してください。
5. 整理整頓を心がけてください。
6. 機器の破損、怪我、その他、不測の事態が起こった場合などは、速やかに主任者に連絡してください。
7. 実験室および備え付けの装置等の不適切な利用があった場合、それ以降の利用ができなくなることがあります。